

めぐみ厚生センター恵友会 会報

第347号

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 副島 勉

郵便振替 めぐみ厚生センター恵友会

口座番号：01770-6-12389

事務局 〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584（めぐみ園内）：tel 0952-34-7722

年頭挨拶



『寄り添う』

恵友会 会長 副島 勉



皆様、新年おめでとうございます。新しい年を迎え一ヶ月が過ぎました。が、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は佐賀県で初となる「国民スポーツ大会」（旧「国民体育大会」）が開催されました。障がいの有無にかかわらず、目標に向かい懸命に努力するアスリートの姿に、深い感銘を受けたのは私だけではないでしょう。世界のあらゆる土地や人との間で起こる紛争に打ちひしがれ、刹那的に生きている中、自分と闘い仲間と協力し合う姿は、人間の真の力強さを証明していました。本当の強さとは、自分より弱いものや心が折れそうになる人に寄り添い「共に」歩もうとするものだと、教えてもらいました。私達も支える側になり、支えてもらう側にもなりますが、どのような立場になつても、傲り高ぶることなく、人として正しいものでありたい、選択を見間違わないものでありたい、と思います。

また、皆様、お気づきだと思いますが、前号でもお知らせした通り、

今年も、私の会社がある佐賀市唐人町では、平成4年4月に始まった佐賀市の花物語事業の「花物語シンボルロード編」に参画しており、ウイズ富士の利用者が育てた苗を市民と利用者が共に花植をすることで、障がい者への理解を深めることに貢献しています。更にこの苗を町民が育てることで、町に彩りが創出されていることに、心より感謝いたしております。ウイズ富士さんから購入している花苗は形や色も美しく。しかも、一つひとつが丈夫なのです。聞けば、一人ひとりに役割があり、

令和七年度（2025年4月）から、恵友会の総会を1年ごとに開催し、会員の構成上、会費を贊助会員と正会員に分け運営していくことになりました。この会報誌を拝読されている方々は、殆どが贊助会員ですが、正会員には総会の出席が義務付けられ同時に決議も委ねられます。このように、社会の変化と共に恵友会も必要に応じて軌道修正を図つていますことを、ご理解していただけるものと有り難く感じております。



最近の福祉は「伴走型支援」という言葉がキーワードになっていますが、「愛護」から「療育」「支援」と文言や意識が変わり、「寄り添う」姿を理想にしているようです。「なるほど！」と、国スポ（先述した国民スポーツ大会の略称）やめぐみ厚生センターの職員さんの姿を見て実感しています。

私達は、この宇宙の中では数に足らない存在ですが、厚生センターの後援団体として、利用者の方への「真の伴走者」としてこの一年、共に駆けめぐつて行き（生き）ましよう。

=お知らせ=

めぐみ厚生センターのホームページがあります。下記のアドレスを入力するか「めぐみ厚生センター」で検索して下さい。

恵友会の会報誌や各イベント情報等が、隨時確認出来ます♪

<http://megumikousei-center.org/>

新しい年を迎えるにあたり、会員の皆様にはお喜びを申し上げます。

恵友会も44年目を迎え、多彩なご意見や会員の皆様からの作品等を頂戴出来ればと思っております。

一年間よろしくお願い申し上げます。

日本キリスト教会福岡筑紫野教会
日本キリスト教会西宮中央教会

敬称略

◎
○
寄付ありがとうございました。

令和7年1月6日現在

山口伸子、山代ガス6名
小宮 礼、池田 莉

敬称略

○会費納入
ありがとうございました。

令和7年1月6日現在



めぐみ園・富士学園のクリスマス礼拝・祝会を開催しました。

◇◇祝・クリスマス◇◇



「ウイズ富士」恒例の
クリスマス☆バイキング!



= 溝田逍遙先生の生け花 =
毎年のご奉仕に感謝します

2025年世界の平和をのぞみます！

橋口正子さん作 木目込み
「豊楽宝へび」



《 会員の皆様の作品 》 今年も皆様方の力作をご紹介します！

栗林扶貴さん作 トールペイント
「薄紫のスカラップ」



藤山二代さん
「ふくろうの
しあわせ家族」



毛糸のかぎ編みクッション



山下真弓さん作 「新春飾り」



山下真弓さん作 「新春飾り」